

国内産糖・いもでん粉産地支援対策

【産地活性化総合対策事業 10,704(6,515)百万円の内数】

【農畜産業機械等リース支援事業 1,627(2,742)百万円の内数】

対策のポイント

さとうきびやでん粉原料用いも産地の持続的発展に向け、さとうきびの機械化一貫体系の確立やいもでん粉の高品質化技術の確立等に向けた取組を支援します。

<背景/課題>

- ・さとうきび及びでん粉原料用いもは、沖縄県、南九州地方及び北海道における基幹作物であり、国内産糖・いもでん粉製造業と合わせ、地域の産業・経済を支える重要な役割を担っています。
- ・しかしながら、さとうきびについては、農業者の高齢化が進んでおり、効率的な生産体系の確立が急務となっております。
- ・また、国内産いもでん粉については、関税割当の運用によって糖化製品用として需要を確保しているため、でん粉の高品質化を推進し、市場評価の高い加工食品用への転換が必要です。

政策目標

事業実施産地における事業効果（農業産出額の増加や農産物供給拡大効果等を貨幣換算したもの）の総計 約600億円（「産地活性化総合対策事業」全体の効果）

<主な内容>

1. さとうきびの安定的な生産体制の確立に向けた取組を支援

さとうきび産地において、効率的かつ持続的なさとうきびの生産体制を確立するために必要となる農業機械等のリース導入を支援します。

農畜産業機械等リース支援事業（地域作物支援型）

補助率：定額（リース料の6/10以内）

事業実施主体：民間団体、農業者団体等

2. 国内産いもでん粉の高品質化に向けた取組を支援

国内産いもでん粉の加工食品用等への販路を拡大するため、高品質でん粉の製造技術等の確立に向けた取組、でん粉等の品質管理に必要な機器の整備、生菌数の大幅な改善に資する閉鎖系製造設備等の導入を支援します。

産地活性化総合対策事業（地域作物支援地区）

補助率：1/2以内、（融資主体型補助）1/10以内

事業実施主体：民間団体、農業者団体等

[お問い合わせ先：生産局生産流通振興課（03-6744-2115（直））]

農畜産業機械等リース支援事業（地域作物支援型）

さとうきびは、鹿児島県南西諸島及び沖縄県における基幹作物であり、甘しや糖工場と合わせ、地域の産業・経済を支える重要な役割を担っています。

課題

○さとうきびは鹿児島県南西諸島及び沖縄県における基幹作物であるが、零細規模の農家が多数を占め、高齢化と相まって生産構造が脆弱化

- ・農家の7割以上がさとうきび栽培に従事
- ・普通畑の5割以上でさとうきびを栽培
- ・一戸当たりの収穫面積は約80a
- ・農家の45%が65歳以上

収穫面積が徐々に減少

H元年産	H15年産	H20年産
3.4万ha	2.4万ha	2.2万ha

○台風・干ばつ等の気象災害の常襲地帯

※担い手と高齢者等が共同して効率的かつ持続的な生産体制を再構築することが必要！

対策の内容

○機械化一貫体系の確立による軽労化・低コスト化

- ・ハーベスタ、株出管理機等のリース導入

○気象災害に強い生産基盤の整備による生産の安定化

- ・干ばつ被害を軽減するための点滴チューブ、かん水タンク等のリース導入



ハーベスタ



株出管理機



かん水タンク

事業実施後



新たな生産体制

- 担い手の作業能力が向上！
- 重労働は担い手に委託でき生産が安定化！
- 気象災害に強い生産基盤の確立！

現状



手刈り収穫

将来



機械収穫

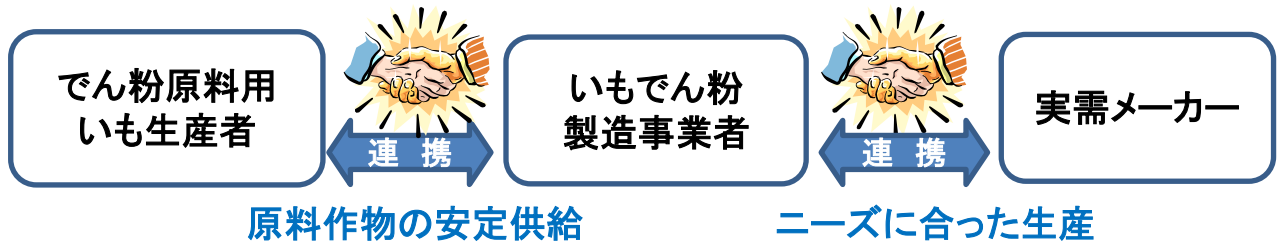
※手刈り収穫から機械収穫へ移行することにより労働時間が大幅に削減！

さとうきびの安定的な生産体制を確立

産地活性化総合対策事業（地域作物支援地区）

でん粉原料用いもは、北海道及び南九州地域における基幹作物であり、いもでん粉製造業と合わせ、地域の産業・経済を支える重要な役割を担っています。

産地の活性化に向け、国内産いもでん粉の安定生産の確立が重要



課題

交付金対象でん粉の販売先は、関税割当の運用によって需要を確保された糖化製品用が7割



市場評価の高い加工食品用等への転換が急務

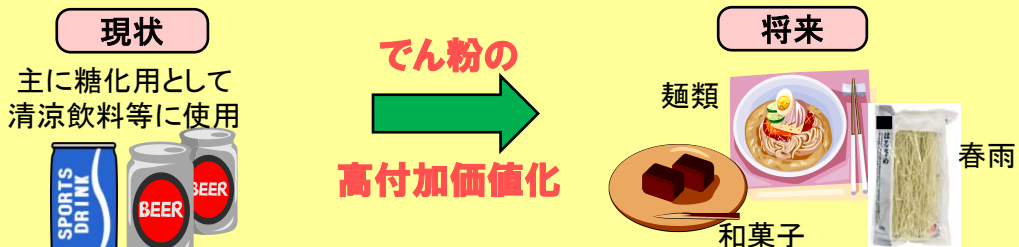
対策

○ 高品質化技術等の確立

加工しやすく品質が損なわれにくい食品用途に適した高品質でん粉の製造技術の確立等を支援（補助率：1/2以内）

○ 高品質製造施設の整備

生菌数等の大幅な改善に資する閉鎖系製造設備等の導入を支援（補助率：1/10以内（融資主体型補助））



糖化製品（果糖ぶどう糖液糖）用から加工食品（麺・菓子等）用へ転換！

国内産いもでん粉の安定生産の確立により、産地の収益力を向上させ、地域の産業・経済を活性化